

資料A

# 平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

学校法人ソニー学園

# 学校法人ソニー学園 平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

## 目次

### I 法人の概要

- 1) 法人の概要 . . . . . P2
- 2) 役員及び理事会の開催状況 . . . . . P3
- 3) 教職員の概要 . . . . . P5

### II 事業の概要

- 1) 主要人事・組織変更 . . . . . P6
- 2) 事業計画の達成状況 . . . . . P7

### III 財務の概要

- 1) 決算報告 . . . . . P11
- 2) 財産目録 . . . . . P12
- 3) 決算額の推移 . . . . . P13
- \* 決算概要と計算書類 . . . . . 別紙

# 学校法人ソニー学園 平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

## I 法人の概要

### 1) 法人の概要

#### 1-1) 設置する学校、学科等

- ①名称 湘北短期大学（しょうほくたんきだいがく）
- ②所在地 〒243-8501  
神奈川県厚木市温水字長久保428番地  
☎046（247）3131
- ③設置学科 生活プロデュース学科、保育学科、総合ビジネス・情報学科、  
総合ビジネス学科（平成28年度から学生募集停止）

#### 1-2) 入学定員・学生数の状況等

平成29年5月1日付

学科	入学定員	学生数（在籍者数）		
	収容定員	1年	2年	合計
生活プロデュース学科	125	115人	124人	239人
	265			
保育学科	135	132人	132人	264人
	255			
総合ビジネス・情報学科	220	259人	226人	485人
	440			
総合ビジネス学科 (平成28年度から学生募集停止)	-	-	3人	3人
学科合計	480	506人	485人	991人
	960			

※平成29年3月31日付で、情報メディア学科廃止（在学生が居なくなったため）

※平成29年度から入学定員を変更 保育学科 120名→135名（15名増員）、  
生活プロデュース学科 140名→125名（15名減員）

2) 役員及び理事会の開催状況

①役員に関する事項

理事・監事の当年度末（平成30年3月31日現在）における状況

理事・監事の 区別	選任区分	定数	現員	氏名	常勤・非 常勤の別	任期
理事長				宮下次衛	常勤	2年
常務理事				宮地哲治	常勤	
理事  11人以上 13人以内 (現員13人)	1号(学長)	1人	1人	宮下次衛	常勤	2年 (H30.3.31 まで)
	2号 (評議員)	5人	5人	宮地哲治 飯塚順一 大野恵美 小森 潔 佐藤清彦	常勤 常勤 常勤 常勤	
	3号 (学識経験者)	5人以上 7人以内	7人	安部和志 清水一彦 中鉢良治 所眞理雄 西田一郎 西谷 清 原田勝広	非常勤 非常勤 非常勤 非常勤 非常勤 非常勤	
監事 2人 (現員2人)		2人	2人	是永浩利 山本好敬	非常勤 非常勤	3年 (H30.3.31 まで)

理事・監事（平成30年4月～）

理事・監事の 区別	選任区分	定数	現員	氏名	常勤・非 常勤の別	任期
理事長				宮下次衛	常勤	2年
常務理事				宮地哲治	常勤	
理事  11人以上 13人以内 (現員13人)	1号(学長)	1人	1人	宮下次衛	常勤	2年 (H32.3.31 まで)
	2号 (評議員)	5人	5人	宮地哲治 飯塚順一 大野恵美 小森 潔 佐藤清彦	常勤 常勤 常勤 常勤	
	3号 (学識経験者)	5人以上 7人以内	7人	安部和志 清水一彦 中鉢良治 所眞理雄 西田一郎 西谷 清 原田勝広	非常勤 非常勤 非常勤 非常勤 非常勤 非常勤	
監事 2人 (現員2人)		2人	2人	是永浩利 山本好敬	非常勤 非常勤	3年 (H33.3.31 まで)

②評議員に関する事項

評議員の年度末（平成 30 年 3 月 31 日現在）における状況

選任区分	定数	現員	氏名			任期
1号 (法人の職員)	8人	8人	内海太祐 佐藤清彦 水上 裕	大野恵美 徳田重典 宮地哲治	小森 潔 橋本一晃	2年 (H30.3.31 まで)
2号 (卒業生)	4人	4人	荒金一仁 阿武祥子	小針愛子	三橋文男	
3号 (学識経験者)	14人以上 16人以内	16人	荒川 勇 今出川幸寛 川副正教 橋谷義典 米澤健一郎 宮下次衛	出井 学 遠藤育雄 神戸司郎 望月賢一 飯塚順一	井深 亮 落合文雄 中山 保 山田敏之 飯塚正克	
計	26人以上 28人以内	28人				

評議員（平成 30 年 4 月～）

選任区分	定数	現員	氏名			任期
1号 (法人の職員)	8人	8人	内海太祐 佐藤清彦 水上 裕	大野恵美 徳田重典 宮地哲治	小森 潔 橋本一晃	2年 (H32.3.31 まで)
2号 (卒業生)	4人	4人	荒金一仁 阿武祥子	小針愛子	三橋文男	
3号 (学識経験者)	14人以上 16人以内	14人	荒川 勇 今出川幸寛 神戸司郎 望月賢一 飯塚正克	出井 学 落合文雄 中山 保 米澤健一郎 宮下次衛	井深 亮 川副正教 橋谷義典 飯塚順一	
計	26人以上 28人以内	26人				

③理事会及び評議員会の開催状況

平成 29 年度の理事会、評議員会及び常勤理事会は下記のように開催された。

理事会	評議員会	常勤理事会	開催日
		第 1 回常勤理事会	29 年 4 月 5 日
		第 2 回常勤理事会	5 月 10 日
第 1 回理事会	第 1 回評議員会		5 月 26 日
		第 3 回常勤理事会	6 月 7 日
		第 4 回常勤理事会	7 月 5 日
		第 5 回常勤理事会	8 月 2 日
		第 6 回常勤理事会	9 月 6 日
第 2 回理事会	第 2 回評議員会		10 月 9 日
		第 7 回常勤理事会	10 月 11 日
		第 8 回常勤理事会	11 月 1 日
		第 9 回常勤理事会	12 月 12 日
		第 10 回常勤理事会	30 年 1 月 10 日
		第 11 回常勤理事会	2 月 7 日
		第 12 回常勤理事会	3 月 7 日
第 3 回理事会	第 3 回評議員会		3 月 26 日

3) 教職員の概要

教員数及び職員数 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

	区分	常勤 (任期付含む)	非常勤 (H29.5.1 付)
教 員	学長	1	
	総合ビジネス・情報学科	15	50
	生活プロデュース学科	9	29
	保育学科	12	15
	計	37	94

	部門名	常勤 (契約・嘱託含む)	非常勤 (パート・派遣含む)
職 員	法人本部 (長)	1	0
	事務局長・次長	1 (他に兼務者 1)	0
	総務部	6	2
	情報システム部	2 (他に兼務者 1)	0
	財務部	3	0
	広報部	4	0
	教務部	5 (他に兼務者 1)	5
	学生部	3 (他に兼務者 1)	0
	キャリアサポート部	6	1
	図書館	3 (他に兼務者 1)	2
	計	34	10

## II 事業の概要（湘北短期大学）

### 1) 主要人事・組織変更

#### 1-1) 役職教職員及び学務分掌（平成30年4月1日付）

##### ①学科

総合ビジネス・情報学科長 （兼 総合ビジネス学科長）	小森 潔
同 副学科長	内海太祐
生活プロデュース学科長	水上 裕
保育学科長	大野恵美

##### ②センター・図書館

I C T教育センター長	内海太祐（兼務）
グローバルコミュニケーションセンター長	佐藤清彦（兼務）
同 副センター長	山形俊之
インターンシップセンター長	飯塚順一
同 副センター長	石崎琢也
リベラルアーツセンター長	小棹理子
図書館長	宮地哲治（兼務）

##### ③事務局

事務局長	宮地哲治
事務局次長	佐藤清彦
総務部長	飯塚正克
情報システム部長	内海太祐（兼務）
財務部長	徳田重典
広報部長	橋本一晃
キャリアサポート部長	竹内 淳
学生部長	宮地哲治（兼務）
教務部長	佐藤清彦（兼務）

#### 1-2) 採用（平成30年4月1日付）

①保育学科講師（任期付教員） ……小野 修平

#### 1-3) 退職（平成30年3月31日付）

##### ①自己都合

大塚 習平（保育学科教授）

大橋 寿美子（生活プロデュース学科教授）

中村 亮太（総合ビジネス・情報学科准教授）

※平成30年4月1日付教職員数 教員35名、職員34名、非常勤講師96名

#### 1-4) 諸規程の改定（平成30年4月1日付施行）

①会計規程、固定資産・物品管理細則改定（内部規則の体系化整備等のため）

②公益通報等に関する規程制定（コンプライアンス経営推進のため）

- ③組織・業務分掌規程一部改定（情報システム部新設のため／平成 29 年 11 月 1 日付）
- ④監事報酬規程制定（役員報酬決定のため／平成 29 年 10 月 9 日付）

## 2) 事業計画の達成状況

### 2-1) 「教育手法」を深耕する

#### ①新湘北教育基本方針の発信・浸透

平成 29 年 4 月 1 日付で湘北短期大学教育基本方針（三つのポリシー）の改定を行った。「湘北短期大学の教育目標」、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）」、「入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）」を見直し、本学に関心を持つ様々なステークホルダー（学生、入学希望者、保護者、高等学校、企業や教育関係者等）に十分理解してもらえるような内容と表現にして本学ホームページ、大学ポートレート、募集要項、履修ガイド等に掲載し、学内外に発信した。

#### ②アクティブラーニングⅡ

ここ数年アクティブラーニングに適した教室を増設してきたが、平成 29 年度は、私立大学等改革総合支援事業採択に伴う設備活性化補助金を利用して、2 教室（471 教室、142 教室）をアクティブラーニング対応教室に改装した。教育内容及び方法の改善を図る F D 研修や前期・後期にそれぞれ 2 週間行われる相互授業参観で、アクティブラーニングのモデル授業をリストアップし、教職員が参観することにより、各自の授業運営能力の向上を図った。

#### ③基礎学力の向上

入学者の基礎学力低下への対応策として、就職試験や社会に出てからも必要となる、「読み」、「書き」、「計算」等について、「日本語リテラシー」（リベラルアーツ科目）、「キャリアベーシック（S P I）」（就業力育成科目）等を通じて向上に取り組んだ。また、数学を学び直す機会として、1 年次前期に特別講座「基礎教養のための数学演習」を開講した。

#### ④授業の成果、学力向上の検証

プラットフォーム科目である就業力育成科目群の「就職活動対策講座」を正規単位認定科目として位置付け、一人ひとりの進路に合わせた指導を行った。

プレイスメントテスト（日本語）、S P I 模試を複数回実施し、学修成果の検証、授業方法・内容の検討を行った。



授業内容の見直し、特別講座の実施により、難易度の高い資格（基本情報技術者、日商簿記検定2級、TOEIC600点以上等）の取得者増を図った。

金融機関では入職前ないし入職後に証券外務員の資格の取得を必須としている企業・法人が多いことを踏まえ、金融機関内定者を対象に「二種証券外務員資格試験対策講座」を実施した。

## 2-2) 学生募集力の強化（入学者目標490名以上）

短大進学者の動向や神奈川県下高校の情勢など各種データを基にエリア分析と併せ変化を捉え、高校生及び保護者のニーズに応える適切な施策を実行した。

### ①早期の情報発信と質の向上

高校生及び保護者の進路検討の動向・タイミングを踏まえ、計画的かつ魅力ある年間プログラムの早期発信を行なった結果、オープンキャンパスでは高校生延べ2,233名（前年：2,303名）、保護者延べ968名（前年：877名）の動員となった。保育学科は、高校生前年比▲105名と減少傾向が続いている

### ②実態に向き合う競争戦略の確実な実行

#### a)湘北ブランドの発信

「県央南」、「相鉄沿線」、「県央北」を引き続き重点エリアと位置付け、広く保護者をターゲットに湘北ブランドの認知度向上を狙い、地域情報誌『ぱど』でインパクトのある一面広告を展開した。

#### b)高等学校とのコミュニケーション活動

最重点施策と位置付ける「学生による母校訪問」は延べ200名（前年132名）に広がり、3学科ともに活動の活性化が進んだ。また、高校内進路説明会（114校、1,700名）、合同進学相談会（7会場、37名）、学内見学（13校、205名）、高校教員対象の入試懇談会（3ヶ所、72校）など湘北PR活動を継続実施した。

#### c)広報媒体の活用

自前のサイトとして確立された湘北WEBサイト（ホームページ）は、年間訪問者が97,303名、アクセス数210,947回の実績となった。LINEは、「友達登録者」が6,000名を超え、LINEを通じた質問受付件数は120件となり、高校生との個別コミュニケーションツールとして活用されている

このような活動の結果、平成30年度は入学者535名を確保し、4年連続で入学者目標を達成した。総合ビジネス・情報学科は入学定員220名に対して283名、保育学科は137名（定員135名）で定員を充足したが、生活プロデュ

ース学科は115名（定員125名）で定員未達となった。

## 2-3) 就職力の向上（実就職率90%以上）

### ①就職率の指標を「進路決定率」から「実就職率」に変更する

3学科、キャリアサポート部、インターンシップセンターの相互連携と充実した「就職活動対策講座」により、実就職率は97%に達した。

「就職活動対策講座」は、湘北生に合わせてキャリアサポート部が独自に作り上げた「講座」で、同部職員が主に講師を務めた。受講した学生に対して、数ある企業の中から自分に合った企業を探し出し、自力でエントリーシートの自己PRと志望動機が書けるまで徹底したサポートを行った。

また、面接試験対策及び筆記試験対策を充実させ、内定者の8割が筆記試験のある企業から内定を得た。一方で、学科との連携を積極的に行い、学生の就職活動の把握に努め、一人ひとりの学生に対して丁寧な相談対応を心がけ、最後まで粘り強く支援を行ったことが高い実就職率に繋がった。

### ②「就職活動対策講座」と各学科の「プレゼミナール」及び「インターンシップリテラシー」の連動

1年次後期に並行して進められる「就職活動対策講座」と「インターンシップリテラシー」の授業内容を調整し、学生が業界や職種に関する知識を事前に身に付けてからインターンシップ先を選べるよう改善したほか、「就職活動対策講座」と各学科の就職に関する内容を扱う科目の内容が重複していたことから、生活プロデュース学科では「ゼミナールⅠ」を廃止するとともに「女性のライフスタイル論」の内容を改善するとともに名称を「ライフキャリアプランニング」に変更、総合ビジネス・情報学科では「プレゼミナール」で5回のキャリア入門授業を行うこととした。

また、保育学科では、公務員試験対策として外部の業者による対策講座を実施したが、多数の実力ある学生が公務員を希望しなかったこともあり、本年度の公務員試験合格者は14名に留まった。

### ③安心、安全な優良企業への就職

保護者から見て安心・安全と思える企業からの採用を増加させた。「合同企業説明会」や「企業懇談会」への招致企業の見直しを行い、湘北生を定期的に採用している企業、大学として湘北生を採用してほしい企業等に的を絞った結果、「合同企業説明会」参加企業からの内定獲得率は60%超となった。

また、より多くの学生との就職相談の機会を増やすことで、相談者を安心・安全な企業へと導くことができた。これにより、大学紹介経由で就職した学生の割合は、全就職者の77%となった。また、就職者の21.5%が東証1部上場企業に採用され、金融機関、JA、東証1部上場企業のグループ企業からの採用者を加えると、その割合は就職者の35%に上った。(総合ビジネス・情報学科と生活プロデュース学科の2学科対象)

#### 2-4)「湘北」の教育風土を強化する

##### ①私立大学等改革総合支援事業へのチャレンジ

全学的な体制での教育の質的向上に向けた取組を進めた結果、タイプ1「教育の質的転換」に選定された。選定基準79点(95点満点)以上のところ、本学は86点であった。選定により獲得した補助金は、選定により付加された教育研究活性化設備整備補助金を含めて36百万円超となった。平成30年度についてもタイプ1の選定を目指し、教育の質的向上に向けた更なる取組を進める。

##### ②課外活動の活性化

学友会(委員会・サークル)の加入率は、昨年度と同じ67%であった。湘北祭は台風による悪天候下での開催が影響し、2日間延べ学生参加数は1,312名(前年1,614名)(参加率67%)と振るわなかった。一方、スポーツ大会は雨天にもかかわらず742名(前年764名)が参加(参加率76%)し、昨年度に続き高い参加率を維持した。本年度も引き続き課外活動への参加を推進していく。

### Ⅲ 財務の概要

#### 1) 決算報告

平成29年度の決算概要を事業活動収支に則して予算対比で説明する。この事業活動収支の基本金組入前収支は、①教育活動収支 ②教育活動外収支 ③特別収支の3つで構成される。

#### ①教育活動収支

教育活動収入は、私立大学等改革総合支援事業補助金獲得、学納金増、退職財団交付金増等により、予算比6.1百万円増加の14億23百万円であった。支出は、教員の自己都合退職に伴う退職金の増加等人件費の増加が10百万円あったが、その他経費節減を行い、支出総額は2百万円増加の14億13百万円となった。その結果、本業である教育活動収支は、昨年度に引続き2年連続黒字の10百万円となった。

#### ②教育活動外収支

マイナス金利政策継続するなか、予算比4百万円減少の85百万円の黒字となった。

#### ③特別収支

収入は施設設備補助金他20百万円、支出は有価証券処分差額6百万円や図書、建物等資産処分差額9百万円があり、収支は5百万円の黒字となった。

上記①から③により、基本金組入前当年度収支差額は、1億円の収入超過となり、平成25年度から5期連続の黒字を達成した。

この基本金組入前当年度収支差額に前年度繰越収支差額6億44百万円と基本金取崩額49百万円を加算し、最終的に翌年度繰越収支差額は、7億93百万円を計上した。

以上

# 財 産 目 録

平成30年3月31日

I 資産総額		10,620,150,162 円
内 基本財産		3,086,735,539 円
運用財産		7,533,414,623 円
II 負債総額		1,000,492,917 円
III 正味財産		9,619,657,245 円

区 分	金 額
《 資 産 》	
1 基本財産	
土地(借地権を除く) 19,360 m <sup>2</sup>	776,992,764 円
建物 17,282 m <sup>2</sup>	1,715,617,751 円
図書(視聴覚資料、DVD含む) 112,191 冊	417,835,436 円
教具・校具・備品	118,534,738 円
その他	57,754,850 円
2 運用財産	
現金・預金	698,303,105 円
退職給与引当特定資産	454,559,041 円
減価償却引当特定資産	900,000,000 円
第3号基本金引当特定資産	2,200,000,000 円
有価証券	3,211,102,004 円
その他	69,450,473 円
資産総額	10,620,150,162 円
《 負 債 》	
1 固定負債	
退職給与引当金	454,559,041 円
2 流動負債	
未払金	100,758,216 円
前受金	437,775,000 円
預り金	7,400,660 円
負債総額	1,000,492,917 円
《 正味財産 》 資産総額－負債総額	9,619,657,245 円

## 決算額の推移

### ①資金収支計算書

(単位 百万円)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収入の部					
学生生徒等納付金収入	1,167	1,168	1,221	1,253	1,217
手数料収入	16	19	17	17	18
寄付金収入	15	20	11	10	9
補助金収入	168	124	125	118	176
資産売却収入	3,790	4,229	3,959	2,663	1,851
付随事業・収益事業収入			1	1	1
受取利息・配当金収入	75	98	120	94	85
雑収入	15	50	84	66	21
前受金収入	393	431	416	411	438
その他の収入	335	1,006	438	308	301
資金収入調整勘定	△ 423	△ 439	△ 506	△ 457	△ 444
前年度繰越支払資金	1,513	772	774	255	848
収入の部合計	7,064	7,478	6,660	4,739	4,521
支出の部					
人件費支出	819	824	908	806	793
教育研究経費支出	249	269	310	303	297
管理経費支出	172	169	190	164	156
施設関係支出	23	55	121	73	55
設備関係支出	15	37	58	75	35
資産運用支出	4,583	5,093	4,533	2,262	2,161
その他の支出	495	359	432	382	442
資金支出調整勘定	△ 64	△ 102	△ 147	△ 174	△ 116
翌年度繰越支払資金	772	774	255	848	698
支出の部合計	7,064	7,478	6,660	4,739	4,521

### ②事業活動収支計算書

(単位 百万円)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学生生徒等納付金	1,167	1,168	1,221	1,253	1,217
手数料	16	19	17	17	18
寄付金	18	21	11	10	9
補助金	168	124	123	118	157
付随事業収入	0	0	1	1	1
雑収入	15	50	84	66	21
教育活動収入計	1,384	1,382	1,457	1,465	1,423
人件費	852	843	888	802	795
教育研究経費	408	424	444	431	429
管理経費	208	199	219	195	188
徴収不能額	2	1	0	1	1
教育活動支出計	1,470	1,467	1,551	1,429	1,413
受取利息・配当金	75	98	120	94	85
教育活動外収入計	75	98	120	94	85
教育活動外支出計	0	0	0	0	0
資産売却差額等	48	163	151	6	20
特別収入計	48	163	151	6	20
資産処分差額等	3	118	75	21	15
特別支出計	3	118	75	21	15
基本金組入前当年度収支差額	34	58	102	115	100
基本金組入額合計	0	△ 800	△ 1,200	0	0
当年度収支差額	34	△ 742	△ 1,098	115	100
前年度繰越収支差額	1,407	1,446	1,492	468	644
基本金取崩額	5	788	74	61	49
翌年度繰越収支差額	1,446	1,492	468	644	793

③貸借対照表

(単位 百万円)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
資産の部					
土地	777	777	777	777	777
建物	1,906	1,831	1,830	1,777	1,716
その他の有形固定資産	769	638	583	618	594
特定資産	2,351	2,427	3,557	3,553	3,555
その他の固定資産	2,605	3,205	2,723	2,420	3,031
現金預金	772	774	255	848	698
その他の流動資産	1,029	665	692	556	249
資産の部合計	10,209	10,317	10,417	10,549	10,620
負債の部					
退職給与引当金	457	477	457	453	454
その他固定負債	15	1	0	0	0
前受金	393	431	416	411	438
その他の流動負債	99	105	139	165	108
負債の部合計	964	1,014	1,012	1,029	1,000
純資産の部					
第1号基本金	6,698	6,654	6,630	6,569	6,520
第2号基本金	794	50	0	0	0
第3号基本金	200	1,000	2,200	2,200	2,200
第4号基本金	107	107	107	107	107
翌年度繰越収支差額	1,446	1,492	468	644	793
純資産の部合計	9,245	9,303	9,405	9,520	9,620
負債及び純資産の部合計	10,209	10,317	10,417	10,549	10,620